

## 社会人矯正ギブス

第 11 期 OB 佐藤 和也

第 11 期 OB の佐藤和也です。妻と交互に OB 会誌を寄稿しております。昨年度は子供が生まれて流行りの男性育休を数か月取得し、生活環境が目まぐるしく変わった年だったなと思っておりました。今年度も、日吉寄りの川崎から東京 23 区内へ転居したり、社内の人事異動で新しい仕事に就いたり、激動な一年だったなと思っております。

住居環境について、子供が生まれて家庭の手が回らない為、実家の近くに住み替えました。自宅を購入するか否か一瞬悩みました（世間の永遠のテーマ：賃貸 VS 持家）が、高止まり感ある都内マンション価格が下落傾向になった時の高値掴みに対する恐怖、物件価格が高くなればなるほど重荷になる固定資産税の支払い、実質課税されない勤務先の家賃保証、及び、今時の賃貸設備水準の高さを、総合的に勘案して賃貸分譲 MS を選択しました。何より、不動産を保有しているから相続時に揉めるケースが多いということの仕事柄上、知っているのも一要因かもしれません。高齢者になっても働くであろう将来、持家がなくても全く住居には困らない時代が到来すると勝手ながら思っている為、市況環境を見ながら自身の住居環境を整えていく所存です。

仕事について、5 年半藤沢支店で勤務して本店営業第七部という部署に異動となりました。半沢直樹風で言えば、御栄転であり花形部署らしいです（半沢は第二部でしたね）。仕事内容もウェルス・マネジメントから、大企業担当になり全く畑違いで転職した気分です。さらに当社内で言えば、いわゆる「ナンバー部」と一丁前にかっこつけた部署です。その部署ではエリート？ 意識が高くプライドの塊しかない連中ばかり（実際は勘違いしている者も多々）で、人事や出世の話題が、休憩中の会話の中心です。部署の特徴として取引先の人事異動を注視する必要があるからなのか、自身の社内の人事異動にも無論敏感です。特に、若い頃から重要ポストに就く人事異動が出た際には、会話が盛り上がっております。「△△さん舟は沈没しそうだから、今回御栄転された〇〇さん艦艇に乗り移ろうかな」や「△△さんに 3 割 bet して、残り 7 割は〇〇さんに bet しよう。佐藤は〇〇派だっけ？」等々。薄々は感じておりましたが、そうやって、出世派閥の渦に巻き込まれて自身の価値観や部下群が形成されて年を重ねていくんだなと肌で感じております。小野ゼミ生が就活エントリーする日系企業のうち中枢系部署には、少なくとも、こんな風土があると勝手ながら思っております。尚、当の私とはいうと、そういう雰囲気だけでなく、そもそも慣れていない仕事に向き合い、最近では疲れすぎて、昼休みに東京駅近辺で働く小野ゼミ同期の石塚さんと会って食事をしながら愚痴ったり、或いは、同じ会社だけど、遥か遠い地である広島で（幸せの絶頂で）働く第 12 期 OB 荒井さんに社内メールで連絡したりと、小野ゼミの繋がりを活かして発散しております。10 年以上前の本ゼミ

にて誰かが「小野ゼミは社会人養成所であり，社会人矯正ギプスをはめるところ」と述べており，当時の私もそう思っておりましたが，その言葉の真意は，自身とゼミメンバーお互いに同じ型のギプスをはめた仲間は，時間が経っても窮地時には，昔を懐かしんで未来に向かって勝手に支え合うということだと悟った次第です。仕事でも家庭（妻と子）でも小野ゼミの繋がりに支えられて来年 10 周年を迎えます。気負い過ぎず，自身が思い描く将来を実現すべく日々，戦います。皆様も御自愛ください。



同期の佐藤紘子さんと息子と。著者は右。